

問Ⅱ - 6 - ② (テレビ会議)

理事会、評議員会のテレビ会議での開催は認められますか。

答

- 1 遠方に所在する等の理由により現に理事会の開催場所に赴くことができない理事が当該理事会決議に参加するための方策として、テレビ会議や電話会議の方法による会議をすることも可能です。
- 2 テレビ会議や電話会議のように、出席者間の協議と意見交換が自由にでき、相手方の反応がよく分かるようになっている場合、すなわち、各出席者の音声や映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みになっており、出席者が一堂に会するのと同等の相互に十分な議論を行うことができるという環境であれば、テレビ会議や電話会議の方法で理事会や評議員会を開催することも許容されると考えられています。
- 3 なお、理事会又は評議員会を行った場合は、議事録を作成することとされています（一般社団・財団法人法第95条第3項、第193条第1項）。

例えば、テレビ会議で理事会又は評議員会を開催し法定の議事録を作成する場合には、テレビ会議システムを用いて理事会（評議員会）を開催した旨の記述や、テレビ会議システムにより、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることが確認されて、議案の審議に入った旨の記述をすることが考えられます（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第15条第3項第1号かっこ書き、第60条第3項第1号かっこ書き参照）。

(参照条文)

一般社団・財団法人法第95条 (略)

2 (略)

- 3 理事会の議事については、法務省令で定めるところにより、議事録を作成し、議事録が書面をもって作成されているときは、出席した理事（定款で議事録に署名し、又は記名押印しなければならない者を当該理事会に出席した代表理事とする旨の定めがある場合にあっては、当該代表理事）及び監事は、これに署名し、又は記名押印しなければならない。

一般社団・財団法人法第193条 評議員会の議事については、法務省令で定めるところにより、議事録を作成しなければならない。

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第15条 (略)

2 (略)

3 理事会の議事録は、次に掲げる事項を内容とするものでなければならない。

- 一 理事会が開催された日時及び場所（当該場所に存しない理事、監事又は会計監査人が理事会に出席をした場合における当該出席の方法を含む。）

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 60 条 (略)

2 (略)

3 評議員会の議事録は、次に掲げる事項を内容とするものでなければならない。

- 一 評議員会が開催された日時及び場所（当該場所に存しない理事、監事、会計監査人又は評議員が評議員会に出席をした場合における当該出席の方法を含む。）